



歓迎 アイルランド代表 袋井市でベースキャンプ



市長とアイルランド代表覚書締結

## 2020年東京五輪 アイルランド&袋井市 覚書

後援会の皆様には 日頃より大変お世話になり厚く御礼申し上げます。

さて、9月定例会は9月3日より28日まで開催され、平成30年度袋井市一般会計補正予算をはじめ、平成29年度一般・特別・企業各会計決算認定を含む、28議案（うち議員提出議案3件）が提出され、採決の結果それぞれ可決、認定、承認されました。

大庭議員からは、現在本市の懸案となっている老人福祉施設「白雲荘」問題をはじめ、水増しが指摘されている障害者雇用問題などについて一般質問を行いました。（裏面掲載）

ところで、上の写真は、9月18日にアイルランドが袋井市にベースキャンプ地としての覚書が交わしたことを受け、市役所市民ホールにおいて歓迎式典が行われた時のものです。種目単位でなく国単位でのキャンプを誘致するのは県内では袋井市が初めてとのこと。2020年7月上旬から8月上旬まで、エコパなどを練習場に延べ100人の関係者が滞在する予定です。

### ・・・最近の出来事・・・あれこれ・・・



9月議会において、障害者の皆さんとの共生出来る地域社会をめざして手話基本条例を制定しました。（関係皆様と議場にて）



10月10日、袋井土木事務所にて中東遠地域の各種事業（河川・道路）の陳情をしました。地元の蟹田川整備については大庭議員からも重ねて要望しました。

今年の祭典は天気にも恵まれ、木原地区の皆さんのお陰で、久しぶりに地元袋井西3町の合同のイベントが盛大に開催できました。→下の写真は盆行事「土橋かさぶく」の様子



8月14日



10月13日



9月17日 田原地区敬老会 子ども達の作文朗読

市内各地で敬老会が行われました。対象者8,522人、各地区の出席者合計4,028人、全市平均47.3%の出席率でした。袋井西地区は43.0%、最も出席率の良かった地域は袋井東二の72.4%、低かった地域では28.4%というところもありました。



9月15日西地区 落語家を招いて

### 今後の主な行事

- 10月27日 議会報告会 月見の里7:00～
- 11月3日 議会報告会 総合センター7:00～
- 11月4日 西地区5歳児祝い式
- 11月17日 議会報告会 メロプラザ7:00～
- 11月24日 ニュースポーツフェスタ2018 サンライブ袋井ほか
- 11月26日～12月20日 12月定例会
- 12月1日 県市町村駅伝
- 12月9日 クラウンマラソン エコパ



9月定例会での一般質問の内容についてお知らせします。



一般質問する大庭議員

## 老人福祉施設について

### 白雲荘利用の基本的考え方は

**問** 老人福祉法の下に設置された老人福祉センター「白雲荘」を今後、基本的にどのような位置付け、運営をしていくのか。

**答** 白雲荘の基本的考え方は、市内にある運動施設や風見の丘、またコミュニティセンターなど、各施設が老人福祉施設と名前をつけなくても、福祉施設的役割を果たしていくと思う。今後、白雲荘の利用状況を踏まえた上で改めて白雲荘の方向性を検討していきたい。

**問** 白雲荘を閉鎖して風見の丘に移転すると言っていたが、その案を翻して白雲荘を再度利用する事に変更した理由はなにか。

**答** 風見の丘の利用面積が比較的少ないこと、使い慣れた白雲荘の利用の要望が強いこと、シニアクラブが自立して運営することなどにより、高齢者活動の活性化が図れると判断し変更した。



建設されて40年「白雲荘」

### 白雲荘はあと何年利用が可能か

**問** 白雲荘の老朽化を理由に風見の丘に移転する案が出された。また、これまで法定耐用年数を例にあと数年との説明がされてきたが、実質的な利用可能年数はあと何年あると認識しているか。

**答** 昭和52年に建設し40年経過している。物理的耐用年数は65年以上と言われているのであと20年位は大丈夫と認識している。

**問** 平成19年度、約3800万円かけて白雲荘の耐震工事が実施されている。耐震性についてどのように判断しているのか。

**答** 平成25年度に公表した耐震リストでは白雲荘はIaランクと判定されており、耐震性はすぐれており問題ないと判断している。

**問** 白雲荘施設の保全の考え方は。

**答** 大規模修繕の予定はないが、引き続き快適に使用して貰うために、事務室の空調や雨漏り対策、クロスの張り替え等、それら修繕については適切に実施していきたい。

### どうしてシニアクラブが管理するのか

**問** これまで社会福祉協議会が白雲荘の管理を指定管理者として運営してきたが、どうしてシニアクラブ袋井市が今後、社協に替わっ

て管理することになったのか。

**答** 白雲荘の機能移転については、シニアクラブ袋井市の検討委員会の皆さんと月一回の検討を重ねてきた。その話の中で指定管理を受けていただけることになった。

### 委託経費を下げ、さらにシニアに利用者負担まで求めるのは問題

**問** これまで社会福祉協議会への委託してきた経費1800万円を1100万円に減らし、さらに施設を利用する皆さんに負担まで求めていく事を前提にしたシニアへの指定管理委託は問題ではないか。

**答** 白雲荘利用者による有償ボランティアを活用することや施設利用料や利用者負担をしていただくことでシニアクラブ袋井市の皆さんにご理解をいただいた。

**問** シニアクラブ袋井市が指定管理をしたいと言ったのか。

**答** これまで月一回、市とシニアクラブ袋井市の検討委員会で話し合いを重ねてきた。白雲荘のコストを削減して運営できないかとの話の中で受けていただくことでご理解をいただいた。

**問** 社会福祉協議会が受けていただけなかった理由は何か。

**答** 経常的な施設の管理運営費等削減する観点で社協とも話し合いをしてきたが、社協の規定では人件費等削減は出来ないと言うことで、シニアクラブ袋井市に受けていただく経過になった。

**問** 社会福祉協議会が受けられないものをシニア袋井市が指定管理者としてやっていくのか。

**答** 市としてもお願いをしていくので円滑な運営が出来るように全面的にシニアクラブ袋井市を支援していきたい。

### 老人福祉の充実が図れるか

**問** これまで社会福祉協議会に指定管理をしてきた事業の総括は。

**答** 教養講座やレクリエーション事業、カラオケ、また、健康事業を中心に、絵画、手芸、囲碁、将棋、ゲートボール、ヘルストロンなど様々な事業を積極的に提供してきていると思う。



年間約2万人が利用されている「白雲荘」

**問** シニアクラブが指定管理を受託してもこれまで同様の管理は充分に可能か。

**答** シニアの皆さんによる見直しを図るなど、今後はさらに色々検討いただき適切な事業に改めていただきたい。

## 人事問題について

### 人事評価制度導入の成果は

**問** 人事評価制度の導入をして3年が経過をするが、具体的にどのような成果及び課題を認識されているのか。

**答** 人事評価は、毎年度、前期と後期の2回に分けて実施をしている。また、目標も年2回設定し、目標設定や進行管理のために、それぞれ面談やOJTを行い、目標達成に取り組んでいる。

平成28、平成29年度ともに設定した目標の90%以上で、ほぼ目標を達成している。

**問** 人事評価のS、A、B、C、Dの分布は、どのようになっているか。

**答** 人事評価に目標管理を導入したことで、目標の難易度の設定や達成度の評価を行うことから、評価基準が厳しくなったため、B評価が多くなっている。中位の成績の割合が高くなっているという状況。

**問** 職員のメンタル問題は出ていないか。

**答** 昨年度から今年度にかけて、メンタル不調で休職している職員が2人、休暇を取得している職員が6人、計8人いる。復職等もあり、8月末現在で1人が休暇を取得している。

### 障害者雇用の状況は

**問** 国の水増し問題が報道されているが、本市の障害者雇用率は県内23市のうちで最も低い率となっている。どのように改善するか。

**答** 雇用率は2.26%ということで、法定雇用率2.5%を下回るという結果で、恥ずかしく、市民の皆様、障害者の皆様方に申しわけない気持ちでいっぱいです。早速人事部局に指示をし、対応していきたい。

## 一般質問・その後

### ○「白雲荘」

民生文教委員会に提出された白雲荘の今後5年間の指定管理委託料の補正予算1,100万円/年については、今後の事務執行にあたり、シニアクラブへの十分な支援が図られるよう大庭議員より附帯決議案が提出され、採決の結果、委員会として4項目の意見が付されました。

### ○「障害者雇用」

大庭議員の指摘を受けて嘱託者1名を雇用をし2.26%から2.4%に改善されました。さらに1名の雇用を年内に予定しています。法定雇用率の2.5%には未達成ですが、人数的要件は現在でも満たしています。